

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-13-0002_改0
提出年月日	2021年1月20日

工事計画に係る説明資料

浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備

(要目表)

2021年1月

東北電力株式会社

			変更前	変更後
名 称			—	原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 2)
種 類	—			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2080* <sup>1</sup>
	横	mm		1335* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	—		SS400
	芯 材	—		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		—
	設 置 床	m		原子炉建屋 O.P. 14.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 1)
種 類	—			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2080* <sup>1</sup>
	横			mm
材 料	扉 板	—		SS400
	芯 材	—		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		—
	設 置 床	m		原子炉建屋 O. P. 14.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	制御建屋浸水防止水密扉 (No. 3)
種 類	—			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2076* <sup>1</sup>
	横	mm		1816* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	—		SS400
	芯 材	—		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		—
	設 置 床	m		制御建屋 O. P. 14.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	制御建屋浸水防止水密扉 (No. 1)
種 類	-			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2080* <sup>1</sup>
	横	mm		1175* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	-		SS400
	芯 材	-		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		-
	設 置 床	m		制御建屋 O. P. 18.50* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		-

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	制御建屋浸水防止水密扉 (No. 2)
種 類	-			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		1955* <sup>1</sup>
	横	mm		1000* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	-		SS400
	芯 材	-		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		-
	設 置 床	m		制御建屋 O. P. 14.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		-

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	計測制御電源室(B) 浸水防止水密扉 (No. 3)
種 類	-			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2111* <sup>1</sup>
	横	mm		1522* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	-		SS400
	芯 材	-		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		-
	設 置 床	m		制御建屋 O.P. 7.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		-

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変更前	変更後
名称			—	制御建屋空調機械(A)室 浸水防止水密扉
種類	—	片開き扉		
主要寸法	たて	mm		1990* <sup>1</sup>
	横	mm		950* <sup>1</sup>
材料	扉板	—		SS400
	芯材	—		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	m		制御建屋 O.P. 0.50* <sup>2</sup>
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。



			変更前	変更後
名 称			-	制御建屋空調機械(B)室 浸水防止水密扉
種 類	-			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2106* <sup>1</sup>
	横	mm		1047* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	-		SS400
	芯 材	-		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		-
	設 置 床	m		制御建屋 O.P. 0.50* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		-

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

				変 更 前	変 更 後
名 称					第 2 号機 MCR 浸水防止水密扉
種 類		—			片開き扉
主 要 寸 法	扉 体	た て	mm		2600 <sup>*1</sup>
		横	mm		2030 <sup>*1</sup>
	小 扉	た て	mm		2200 <sup>*1</sup>
		横	mm		1044 <sup>*1</sup>
材 料	扉 板		—		SS400
	芯 材		—		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )		—		—
	設 置 床		m		制御建屋 O. P. 22.50 <sup>*2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	制御建屋浸水防止水密扉 (No. 4)
種 類	—			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		1840* <sup>1</sup>
	横	mm		945* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	—		SS400
	芯 材	—		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		—
	設 置 床	m		制御建屋 O. P. 14.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	制御建屋浸水防止水密扉 (No. 5)
種 類	-			片開き扉
主 要 寸 法	た て	mm		2052* <sup>1</sup>
	横	mm		2002* <sup>1</sup>
材 料	扉 板	-		SS400
	芯 材	-		SS400
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		-
	設 置 床	m		制御建屋 O. P. 14.00* <sup>2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		-

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋 (No. 1)
種 類		—		浸水防止蓋
主 要 寸 法	た て	mm		1336 <sup>*1</sup>
	横	mm		1070 <sup>*1</sup>
	厚 さ	mm		15.35 以上 (16 <sup>*1</sup> )
材 料		—		SUS304
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		—
	設 置 床	—		地下軽油タンクピット O.P. 13.80m <sup>*2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋 (No. 2)
種 類		—		浸水防止蓋
主要寸法	た て	mm		1336 <sup>*1</sup>
	横	mm		1070 <sup>*1</sup>
	厚 さ	mm		15.35 以上 (16 <sup>*1</sup> )
材 料		—		SUS304
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—		—
	設 置 床	—		地下軽油タンクピット O.P. 13.80m <sup>*2</sup>
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	地下軽油タンク機器搬出入用 浸水防止蓋
種 類	—			浸水防止蓋
主 要 寸 法	た て	mm		1336 <sup>*1</sup>
	横	mm		1030 <sup>*1</sup>
	厚 さ	mm		16.0 以上 (16 <sup>*1</sup> )
材 料				SUS304
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		—
	設 置 床	—		地下軽油タンクピット O. P. 13.80m <sup>*2</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

\*2：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	第 2 号機海水ポンプ室 浸水防止壁
種 類		—		浸水防止壁
主要 寸法	天 端 高 さ	m		O. P. +14. 4*1, *2
材 料	浸 水 防 止 壁	—		SS400

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い, 牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし, 地盤沈下量を考慮した高さを示す。